

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会会員のみなさま

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会
理事長 市川 高弘

師走の候、会員、ご家族の皆さまにはますますご清栄のことと存じます。平素は当協会の「生活サポート総合補償制度」にご加入いただき厚くお礼申し上げます。

さて、令和5年5月30日開催の理事会におきまして、やまゆり互助会の時代より長きに渡り当協会の運営にご尽力いただきました安藤浩己前理事長の後任として理事長を拝命した市川高弘と申します。当協会が一般社団法人となった平成29年3月から7年目に入りましたが、これからも『障害のある人たちが安心して暮らすために、関係者が支え合うという「やまゆり互助会」の精神』を受け継ぎ、職務に精励する所存でございます。どうぞよろしく願いいたします。

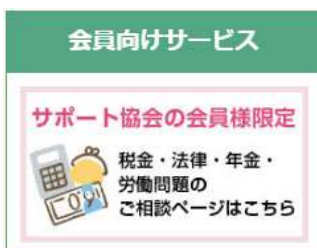


当協会では、保険に関わる事業以外に、知的障害児者及び自閉症児者とその家族の生活の安定と福祉の増進に寄与することを目的として、研修事業、構成団体との共催事業、本人支援及び支援者のサポート事業、相談事業などを行っています。残念ながらコロナ禍により昨年度は研修事業と本人支援及び支援者のサポート事業はWEBによる開催としました。しかし、本年度につきましては、新型コロナウイルス感染症が「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の「第5類感染症」に位置付けられましたので、「業種別ガイドラインの廃止に際しての留意事項」を遵守し、対面方式により研修事業を縮小して再開します。また、コロナ禍より始めたバリアフリー能観劇や全国知的障害児者生活サポート協会主催のオールブリュット展につきましては今後も引き続き参加して当事者の皆さまの芸術や表現活動を支援してまいります。

最後に当協会事務局の組織強化について報告いたします。当協会は、令和4年度も全国各都道府県知的障害児者生活サポート協会の中で会員数が1位で、これまでも毎年増え続けてまいりました。そこで、今後の運営の安定化と発展のために業務効率化を図る必要から本年度より理事長を雇用し、職員構成を理事長1名、事務局長1名、事務員2名の合計4名とし、前任の理事長、事務局長は相談役として万全の事務局体制をしきました。今後とも会員の皆さまからのご意見、ご要望を当協会事務局までお寄せいただければ幸いです。

会員様向け無料電話相談 (全国知的障害児者生活サポート協会企画)

『生活サポート総合補償制度』をご利用のサポート協会会員様限定の無料電話相談です。税金(税理士)・法律(弁護士)・年金、労働問題(社会保険労務士)の先生方による無料電話相談サービスが始まりました。(日時指定の予約制です)



詳細は 相談事業専用サイト(<https://zensapo.jp/consultation/>) または、相談事業専用フリーダイヤル(0120-55-7701)にお問い合わせください。

《注意》フリーダイヤルでの予約受付は、祝日及び年末年始休暇を除く月～金 9:00～17:00 です。

ご相談、お問い合わせの際、**加入者証**をご用意いただくとスムーズです。

■2022年度 決算報告

【運営費の部】

〔収入の部〕		(単位・円)		
科目		予算額	決算額	差額
会費	制度運営費	23,601,712	24,477,990	876,278
雑収入		100	237,479	237,379
繰越金	前年度繰越金	22,755,668	22,755,668	0
合計		46,357,480	47,471,137	1,113,657

〔支出の部〕		(単位・円)		
科目		予算額	決算額	差額
一般管理費		20,152,000	18,704,646	1,447,354
全サボ会費		1,974,700	1,969,000	5,700
事業費		2,000,000	1,661,384	338,616
	(自主事業)		(1,261,384)	
	(共催事業)		(400,000)	
予備費		22,230,780	25,136,107	△2,905,327
繰越金	次年度繰越金	0	25,136,107	△25,136,107
合計		46,357,480	47,471,137	△1,113,657

【保険料の部】

〔収入の部〕		(単位・円)		
科目		予算額	決算額	差額
保険料	預り保険料	181,021,302	187,603,080	6,581,778

〔支出の部〕		(単位・円)		
科目		予算額	決算額	差額
保険料	預り保険料	181,021,302	187,603,080	6,581,778

■2023年度 役員名

役職	氏名	所属団体名
理事長	市川 高弘	一社やまゆり知的障害児者生活サポート協会
副理事長	出縄 守英	神奈川県知的障害施設団体連合会
副理事長	中川 孝子	神奈川県手をつなぐ育成会
副理事長	大矢 武久	神奈川県知的障害者施設保護者会連合会
理事	斎藤 喜美夫	神奈川県知的障害施設団体連合会
理事	横山 裕一	神奈川県知的障害施設団体連合会
理事	今井 康雅	神奈川県知的障害施設団体連合会
理事	杉野 仁	神奈川県手をつなぐ育成会
理事	美和 とよみ	川崎市育成会手をむすぶ親の会
理事	甲山 謙一	神奈川県知的障害者施設保護者会連合会
監事	出口 博喜	神奈川県知的障害施設団体連合会
監事	高橋 悦子	神奈川県手をつなぐ育成会
相談役	安藤 浩己	一社やまゆり知的障害児者生活サポート協会
相談役	神谷 泰子	一社やまゆり知的障害児者生活サポート協会

■2023年度 予算

【運営費の部】

〔収入の部〕		(単位・円)	
科目		予算額	
制度運営費		24,471,000	
雑収入		200	
繰越金		25,136,107	
合計		49,607,307	

〔支出の部〕		(単位・円)	
科目		予算額	
一般管理費		21,482,000	
全サボ会費		1,985,000	
事業費		2,000,000	
予備費		24,140,307	
合計		49,607,307	

【保険料の部】

〔収入の部〕		(単位・円)	
科目		予算額	
預り保険料		187,470,000	

〔支出の部〕		(単位・円)	
科目		予算額	
預り保険料		187,470,000	

■2023年度 事業推進委員

所属団体名	氏名
神奈川県知的障害施設団体連合会	永井 真司
	近藤 誠
	涌井 裕美子
	目崎 和枝
	長尾 健一
神奈川県手をつなぐ育成会	近藤 由美子
横浜市手をつなぐ育成会	荻巢 理子
川崎市育成会手をむすぶ親の会	加藤 敦子
神奈川県知的障害者施設保護者会連合会	大矢 武久
	甲山 謙一
本部会員	川島 博子



2022年度 やまゆり共催事業報告

日時	内容	会場	主催団体
2023/2/22	実践発表会 「心理職のつづやき」	相模原市障害者支援センター松が丘園 3階研修室 オンラインへ変更	神奈川県知的障害施設団体連合会(相模原)
2022/7/30	横浜市知的障害関連施設協議会 研修会 (プリズンサークル映画上映実行委員会)	横浜市健康福祉総合センター4階ホール	神奈川県知的障害施設団体連合会(横浜)
2022/8/1 他1回	①「成年後見制度」トークショー ②「障害区分認定調査」について	①綾瀬市オ・エス文化会館小ホール ②大和市保健福祉センター4階視聴覚室	神奈川県手をつなぐ育成会
2023/2/20	第35回知的障害者が地域で幸せに暮らすための共に考える集い コロナの為中止	横浜市健康福祉総合センター大会議室	特定非営利活動法人横浜市手をつなぐ育成会

やまゆりは各構成団体の研修事業・活動を分担金(上限10万円)で応援しています!!

2022年度 第1回やまゆり研修会報告



夢田能楽堂 Zoom研修会

グループホームを知る

～グループホーム探しから生活内容までお答えいたします!!～

日程: 2022年11/29日 10:00～12:00

お申し込みはこちら
<https://bit.ly/3V67Nx3>

お問い合わせ
 〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
 株式会社ジェイアイシー
 TEL: 043-314-7716 (受付時間: 平日9:00-17:00)

講師: 株式会社ジェイアイシー

主催: 一般社団法人やまゆり短期障害児者生活サポート協会
 運営協力: 株式会社ジェイアイシー

《主な項目》

1. 障害者グループホームとは
2. 障害者グループホームの制度と実際
3. 日中活動事業所が障害者グループホームを運営するのはなぜ?
4. 竹の子ホームって何?
5. 竹の子ホームの現状～よくある疑問～

2022年11月29日(火)に、2022年度第1回やまゆり研修会がオンラインで開催されました。493名の大勢の方に参加をいただきました。開催には(株)ジェイアイシーのご協力をいただきました。感想等ご協力いただいたアンケートの中から一部を紹介します。(一部要約)

- 写真付きで施設の概要や生活の様子がイメージできました。不安に思っていた夜間の支援や個々の対応、経費などわかりやすかったです。今日のことを参考に見学など一歩進めそうです。

- 子供はまだ小学生なので、具体的にグループホームのことを考えている段階ではないのですが、将来の心配は常に心の中にあります。今回、お話を伺う中で将来の生活についてイメージすることができ、大変参考になりました。
- グループホームはもっと自立度の高い人が利用していると思っていたのでビックリしました。息子は障害区分4で、グループホームの入居者さんとトラブルを起こさないか心配でなかなか一歩を踏み出せずにいます。見学に行き、相談していきたいと思います。
- グループホームに入居を希望する人数に対して、現在どのくらいの割合で入居できているのか、またグループホームに初めて入居できた時の年齢も知りたいと思いました。情報収集のため、相談支援事業所や基幹相談所に聞いてみたらよいと教えていただき、参考になりました。
- 浴室リフト、エレベーターなど身体障害に対する設備があり、きめ細かいと感じました。
- グループホームがあるということは知っていたのですが、具体的なことはわかっていませんでした。1人暮らしを考えなくてはと思いつつもどのように進めていったらよいかわからず困っておりましたので、とても参考になりました。

2022年度 バリアフリー能入場料補助報告

横浜能楽堂では、2000年より障がいの有無にかかわらず一緒に能楽を楽しめる「バリアフリー能」を開催しています。(介助者は障害者の方1名につき1名まで無料です。)

* * *

2020年度から協力団体となっているやまゆり生活サポート協会では、入場料の補助をして会員の皆様に楽しんでいただきました。S席、A席、B席、各1,000円の補助をして68名の方が鑑賞されました。

横浜能楽堂長期休館のお知らせ

大規模改修工事のためお休みです
2024年1月～2026年6月

横浜能楽堂の休館中は、
「バリアフリー能」開催は予定されていません
(2023年12月時点)



アールブリュット展 応募作品のご紹介

1

2023年度は、81名の方の応募がありました。多くの方からの応募に大変感謝しております。2024年度も皆様の作品をお待ちしています。



「2人のハッピーなイースター」
浅沼 なお子さん



「きせつのいろんな花、はなびら」
飛弾 桃子さん



「ぼうし」
袋田 圭助さん



「ステゴザウルス」
宮津 宏さん



「大きなクワガタ」
阿部 尊さん



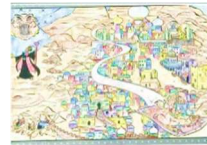
「木に乗ってるコアラの親子」
黒澤 玲子さん



「黒猫とアジサイ」
常谷 和佳子さん



「勇者」
櫻井 隆明さん



「アラジン」
宮本 直弥さん



「入学式」
田邊 正美さん



「ワールドカップ」
高野 祐輔さん



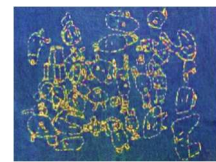
「すきなもの」
橋本 あゆみさん



「大好きな Snow Man」
一ノ瀬 大輝さん



「青空を見ながら空とんで船が出ていく」
岡村 博さん



「うさぎの仲間たち」
古賀 周吾さん



「ぼくの贈り物」
古賀 潤さん



「森の仲間達のバック」
松岡 博徳さん



「スワンのワルツ」
原 智美さん



「無題」
あいの木ひがしまいた利用者共同作品



「ともだち」
加藤 里帆さん



「オリエンタルのタペストリー」
あいの木ひがしまいた利用者



「おりもの」
あいの木ひがしまいた利用者



「うまのえ」
はるきさん



「つる」
山口 遼さん



「カナヘビ」
市村 昭治さん



「ひとりいっぱい」
栗原 吉成さん



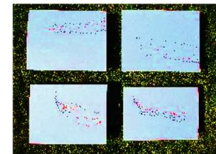
「3がつ16にち」
ながおか きささん



「カラフル」
須貝 清美さん



「無題」
深谷 高志さん

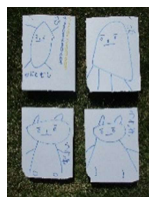


「無題」
柳田 敢さん

アールブリュット展 応募作品のご紹介 2



「無題」
森島 渉さん



「かぶとむし、いか、うさぎ」
船橋 勝巳さん



「職員 H」
R,O さん



「のたつののの」
毛原 晃子さん



「いちご」
井上 敦史さん



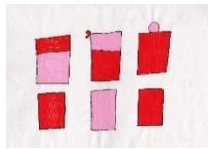
「イメージカラー」
鈴木 驍さん



「オアシス」
佐々木 つくみさん



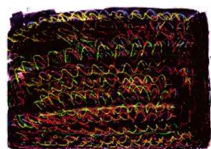
「お花畑」
長谷川 チェミさん



「カタチ」
芦田 知枝さん



「カラー」
大坪 彩花さん



「カラーウェーブ」
外山 美子さん



「カレンダー」
生水 泰さん



「くま」
館谷 純さん



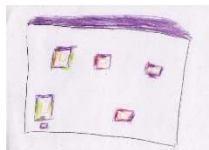
「クリスマス」
横山 直木さん



「サンタクロース」
高橋 未来さん



「スマイル」
加藤 万喜さん



「たてもの」
茶谷 成夫さん



「チェリッシュ、リンゴ、
バナナ、キュウリ、ツツジ」
加藤 明美さん



「ティラノサウルス」
今井 歩人さん



「どうぶつたち」
和田 千愛希さん



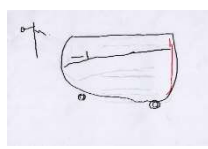
「にわとり」
石井 優紀さん



「ネコ」
藤井 達也さん



「ねことすずめ」
鈴木 秀雄さん



「ハイエース」
大坪 晴輝さん



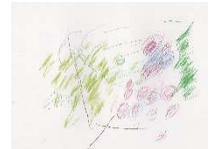
「バス」
宮田 拓輝さん



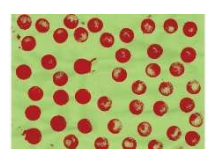
「ひと」
満多野 明美さん



「ひんやりパフェ」
赤塚 高志さん



「ブルーベリー」
麻尾 雅之さん



「べったん」
藤江 美保さん



「みんな」
佐藤 賢治さん



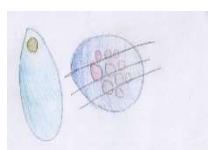
「わたりん」
宮脇 千帆さん



「楽しい仲間たち」
落合 京子さん



「十五夜お月さん」
綿貫 智成さん



「焼きそば」
角田 薫さん



「雪だるま」
斉藤 鈴代さん

アールブリュット展 応募作品のご紹介 3



「無題」
今津 康輔さん



「無題」
山崎 由紀子さん



「無題」
山本 一樹さん



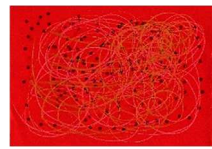
「無題」
柴田 和豊さん



「無題」
川瀬 和子さん



「無題」
池田 健造さん



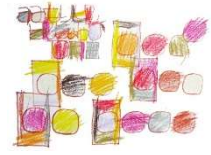
「無題」
渡部 峻太さん



「無題」
柳川 和広さん



「木」
三谷 蘭さん



「おたんじょうび」
那須 勇介さん



「ちゅうりつぷ」
森田 麻衣さん



「ねこちゃん〜I'm a cat」
豊田 浩世さん



「モナリザ」
中澤 亜美さん



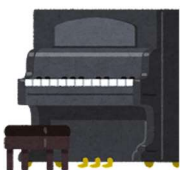
「わたげ」
横山 敏子さん



「春の花畑」
四ッ谷 薫さん



「花火」
本山 和美さん



賞状と参加賞を応募者の方、全員にお渡ししました。
今年の参加賞は手織りペンケースです。



手織りペンケース
相模原市にある「ひまわり工房」さんの作品です。工房で染めた麻糸の中から自分で好きな横糸を選んで織ったペンケースはそれぞれ色合いも違い、個性あふれる表情に仕上がっています。



《2024 年度作品募集》
2024 年 2 月～4 月末まで
ご連絡下さい、募集要項をお送りします。
たくさんのご応募をお待ちしています。



ジャンルは問いません！！
陶芸・絵画・手芸等、ご自分の作品
を発表してみませんか。お待ちしております。



(掲載内容(画像、文章等)の一部及び全てについて、無断で複製、転載、転用、改変等の二次利用を固く禁じます)

AIG 損害保険株式会社代理店(株)ジェイアイシー担当者よりごあいさつ



鈴木 憲太郎

平素よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。生活サポート総合補償制度でお世話になっております株式会社ジェイアイシーの鈴木と申します。

コロナ禍も一応の一区切りとなりました。ここ数年間、生活の中心に社会の背後に、コロナというものがどっしりと構えていて、それに振り回され続けた、というのがコロナ禍を過ごした率直な感想です。「停滞」「分断」といったネガティブな言葉が世の中で囁かれ、外に出るよりは内に向かい、子供たちは学校行事を奪われ、ひとりひとりが身を潜めるようにして生活していた3年間でした。コロナ対策については日々模索しながら、これだ！という正解を見出すことなく、模索し続けたままで終わってしまった、というのが率直な感想です。もっと良い方法はなかったのか、もっともっと助け合えなかったのか、コロナによって失われていったもの、思いやりとか絆とかを、取り戻す必要があるのではないか、そんなことを過去一番暑かったと言われた夏に、ふと思ったりしておりました。

2014年の映画で「インターステラー」という作品があります。割と理知的なSF映画で個人的に「2001年宇宙の旅」の次くらいにお勧めのSF作品ですが、作中で「愛は時空を超えることができる」という話が出てきます。遠く離れていても、時間が過ぎ去っていても、たとえ相手が亡くなってしまっていたとしても、愛情の繋がりは感じ取れる、というようなニュアンスだったように記憶しています。実際主人公は最後にブラックホールに飛び込み、そこにいた過去の娘に重要なメッセージを伝えます。そしてそれは確かに伝わっているのです。

日本人には「愛」はストレート過ぎてちょっと恥ずかしいかもしれません。それに代わる言葉として「絆」がちょうどいいんじゃないかと思います。過去から繋がってきた絆は、コロナによる分断や新自由主義の自己責任論が蔓延中でも、実は自分たちの中で続いていて、それこそ、場所や時間に関係なく、時空を超えて感じ取れるものだと思います。絆を大切に、支えあう世の中を体現していくこと(それが弊社の目指すところでもあります)が、コロナが「明けた」今にあって、必要なことなのではないかと思います。



昆野 将大

日頃よりやまゆり生活サポート総合補償制度をご愛顧賜り、誠にありがとうございます。

私は、横浜市・川崎市を担当させていただいております株式会社ジェイアイシーの昆野と申します。

3年余り続いたコロナ禍のようやく落ち着きを見せ、今年から本格的に各施設へのご案内・周知を復活させていただきました。

最近になって、各施設の施設長様ご担当者様とお会いしていると、「数年ぶりに対面で家族会を実施しました。」「今度利用者さんと一緒に～に日帰りで旅行に行く。」というお話を伺うようになりました。現場の利用者様達の雰囲気も、どこか鬱屈とした雰囲気から、少しずつ以前の活発な姿を取り戻している気がしております。もちろん以前より感染症予防のマスクや手洗い・うがいの徹底など変化した側面もありますが、平和な日常が続くことを心より願いながら、日々を過ごしてまいりたいと思います。

施設などで見かけましたら、生活サポート総合補償制度に関するご要望やご質問、お気軽にお声がけ下さい。よろしくごお願い申し上げます。



鈴木 志穂

平素はひとかたならぬご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

生活サポート総合補償制度を担当させて頂いております株式会社ジェイアイシーの鈴木と申します。

日頃、保険金請求をはじめ、お客様のお問合せ対応をさせていただいております。事故のご連絡では、電話の向こうのお客様が少しでも不安を安心に変えられる様、お客様に寄り添った案内ができる様こころがけております。

コロナ禍がまだまだ収束せず、不安定な社会情勢が続きますが、私どもでお役に立てることがありましたら、精一杯サポートさせていただきますので、お気軽にお申し付けください。今後ともお引き立てのほど、よろしくごお願い申し上げます。

やまゆり生活サポート協会 支払実績

●支払い金額 (金額)

年度	2021	2022	2023※
疾病	32,061,000	35,537,600	10,722,000
葬祭費用	9,800,600	9,600,000	4,200,000
個人賠償	22,852,440	28,286,130	7,118,735
傷害	13,779,500	15,032,924	2,833,200
お支払保険金 合計	78,492,940	88,456,654	24,873,935

●請求件数 (件数)

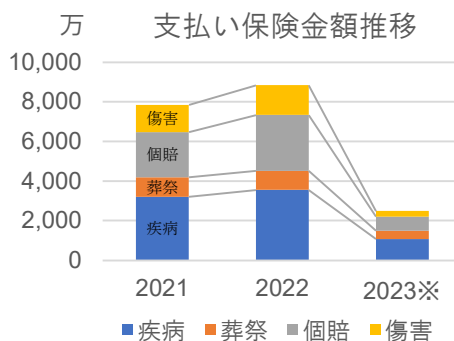
年度	2021	2022	2023※
疾病	888	1,141	239
葬祭費用	102	100	44
個人賠償	348	415	152
傷害	206	193	56
請求件数 合計	1,544	1,849	491

※2023年度は9/30までの実績。

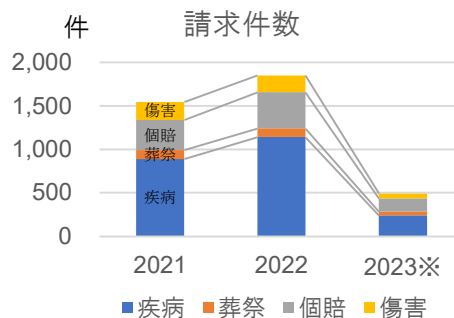
2022年度で目立つのは疾病の補償で、1,141件と例年と比較しても突出しています。これはコロナの療養によるものが多く、コロナの表記があるものだけでも544件、実際はもう少し多いものと思われます。2023年度はコロナの補償が終了した影響もあり、疾病の補償が、大幅に利用が落ちていることがうかがわれます。

個人賠償はコロナに関わりなく高止まり傾向にあります。また、そのうちの9割以上が施設内の物損と思われる。

支払い保険金額推移

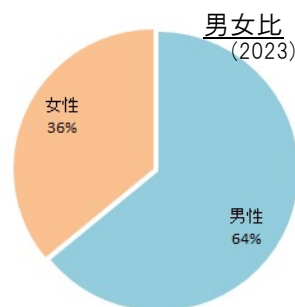
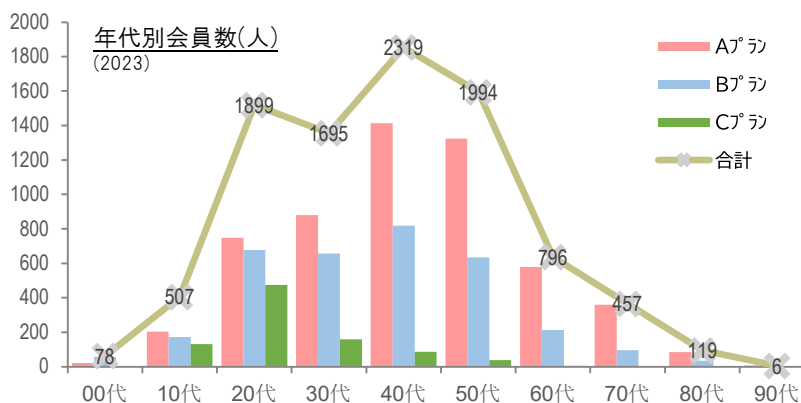
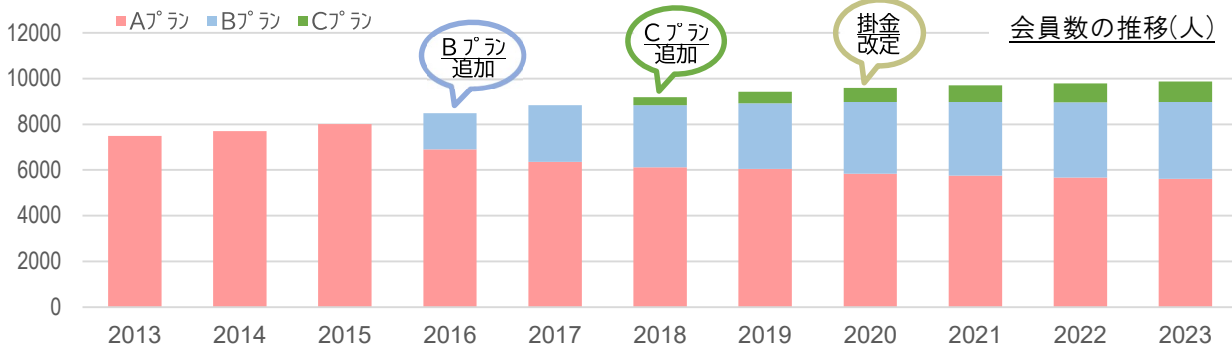


請求件数



やまゆり生活サポート協会 会員状況

最近10年間(2013年から2023年)の推移です。2016年にBプラン、2018年にCプランが追加され、会員さんのニーズに合った選択ができるようになりました。互助会発足以来、(一社)やまゆり生活サポート協会になった現在まで全国で一番の会員数です。お陰様でコロナ禍が収まりましたら、皆様により安心・安全な生活のお役に立てる事業を引き続き考えていくことができるようになります。皆様もどうぞいろいろご参加よろしく願いいたします。



やまゆり事務局からのお知らせ

■ 重要 ■ 新型コロナウイルス感染の5類感染症への変更について

2023年5月8日より、新型コロナウイルス感染症の分類が「5類感染症」に変更されました。この分類変更に伴い、同日以降、「みなし入院」の取り扱いが終了となります。

ただし、2023年5月7日までに同感染症と診断され、「みなし入院」の対象となる方につきましては、2023年5月8日以降も保険請求いただけます。

また、2023年5月8日以降に新型コロナウイルス感染症と診断され、入院をされた場合につきましては、従来どおり入院給付金等のお支払い対象となります。

なお、ご不明な点、ご質問等がございましたら、担当代理店(株)ジェイアイシーまでご連絡下さい ☎03-5321-3373

相談室「やまゆり」

県内には既存のいろいろな機関による専門性の高い相談事業がありますが、それらとは別に「身近なところで悩みや相談を聞いてもらいたい」という時に気楽にお電話ください。

※毎月 第3月曜日 11:00~15:00

※第3月曜日が休日の場合は第4月曜日になります。

※プライバシーに配慮して守秘義務を固く守ります。



080-2334-8347 へ

やまゆり知的障害児者生活サポート協会

相談室 **やまゆり**

こんな時、お気軽にお電話を！

- ☑ 公的な機関で相談するほどのことでもない
- ☑ 誰を知られているところでは相談しにくい
- ☑ 親亡き後のことが心配だけど
- ☑ 周囲の人たちとの人間関係に悩んでいる

・・・ などなど

毎月第3月曜日 11時~15時
080-2334-8347 へ

- ▼ 第3月曜日が休日の時は第4月曜日となります
- ▼ やまゆり知的障害児者生活サポート協会の相談事業チームが担当します
- ▼ プライバシーに配慮し守秘義務を固く守ります

ご利用 保険に関するご相談は、やまゆり知的障害児者生活サポート協会事務局へ
☎ 045-314-7716 (平日9:00~17:00)

手をつなぐフェスティバルへ出展



2023年11月18日(土)

川崎市が主催した川崎市障害者週間記念のつどい「第7回手をつなぐフェスティバル」が、川崎市とどろきアリーナで行われました。やまゆり生活サポート協会と(株)ジェイアイシーがブースを出展しました。



アンケートに答えていただいた方に、リーフレットと除菌シートをセットした物をお渡ししました。

うさっぴーにもアンケートに協力してもらいました！



すぐに必要な書類をお送りします！ こんなときは事務局にお知らせください

- ◇ 加入依頼者が引っ越して住所が変わった。
- ◇ 加入依頼者に変更があった。
- ◇ 被保険者(ご本人)の利用事業所・仕事先が変わった。
- ◇ 掛金振替口座を変更したい。
- ◇ 病気で入院をした、ケガで通院・入院をしたので保険金請求をしたい。

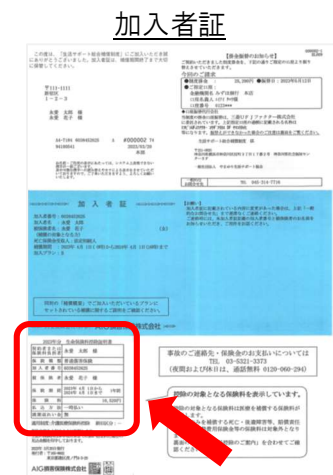


法定代理人(後見人・補佐人・補助人)が加入および各種変更の手続きの場合

- ◇ 引受保険会社(AIG 損害保険株式会社)の方針で、法定代理人(後見人・補佐人・補助人)が「加入」および「各種変更」の手続きをする際、発行6か月以内の登記証明書等の確認書類の写しが必要になります。ご理解とご協力をお願いいたします。

「生命保険料控除証明書」について

- ◇ 加入者証の赤い囲み部分が控除証明書ですので、切り離して年末調整・確定申告時にご使用ください。
- ◇ 控除証明書は加入者のみに発行されますので、被保険者本人名で発行することはできません。
- ◇ 被保険者本人等の加入者以外の方が控除で使用する場合は、通帳に記載されている振替日と名称「ミツビシ UFJ ファクター・フリカエ DF ヤマユリカヒ」が確認できるようにコピーを取り、控除証明書と共に提出をお願いします。
- ◇ 控除証明書を紛失等された場合はご連絡ください。但し、お手元に届くまでに、5日～7日間ほどかかりますので、ご了承ください。



2024年度補償制度のご案内

- ◇ 加入者の方には 2024年2月初旬に登録住所に「2024年度補償制度のご案内」が郵送されます。お手元に届きましたら必ず開封していただき、内容のご確認をお願いします。ご加入内容に変更がある場合のみ「返信用ハガキ」をご返送ください。
- ◇ 掛金振替口座のご変更希望の方は、返信用ハガキの金融機関変更依頼に チェックしていただきご返信ください。後日、所定の用紙を送付します。
- ◇ 口座振替日の1週間から2週間前に、振替のお知らせを兼ねた「加入者証」をご加入者の住所に郵送します。

ご加入内容に変更・訂正がない場合は返信不要です。



❀❀❀❀❀❀❀❀ 「生活サポート総合補償制度」について ❀❀❀❀❀❀❀❀
よくある質問



検査入院でも補償されますか？

はい、検査や薬の調整、保護入院でも補償されます。



以前、ケガをした時の請求を忘れていました。今から請求できますか？

おケガをした時から3年間は有効です。1回の通院でも是非請求してください。

3年間の起点日は保険金の種別によって異なりますので、ご相談ください。



長期入院中ですが、請求はできますか？

入院中でも請求は可能です。病気入院の場合はAプランは入院4日目からが対象で、年度内30日、BプランとCプランは入院2日目からが対象で、年度内30日、ケガ入院は入院1日目より180日を限度にお支払いしております。



神奈川県から引っ越しました。どうなりますか？

年度途中で県外に引っ越しされても、当年度はそのまま補償が受けられます。

次年度以降につきましては、お引越先でもサポート協会がある場合は、新たに加入手続きをしていただきます。事務局にご相談下さい。



ご不明な点等がございましたら、ご連絡ください。

☎ 045-314-7716

川崎市育成会手をむすぶ親の会と神奈川県知的障害者施設保護者会連合会の紹介です。
構成団体としてやまゆりの活動を支援いただいています。

川崎市育成会手をむすぶ親の会のご紹介

川崎市育成会手をむすぶ親の会は、川崎市内の知的障害のある子どもの親の会です。知的障害児者とその家族のための福祉増進と安心して地域で暮らせる共生社会の実現を目指しています。

親の会は、昭和31年に「ひまわり会」として発足しました。その後の社会情勢等により、組織は変わりましたが、10年前に法人格を返上し、現在の団体名になり活動を続けています。

親の会の発足は子どもを学校に行かせたい、子どもの居場所を作りたいとの親の願いからでした。現在は福祉制度やサービスも整備されて、親のニーズも多様化しています。しかし、親の支援なき後の心配は頭から離れることはありません。会員の困りごとなど、声を集めて川崎市へ要望書を提出しています。また、(一社)全国手をつなぐ育成会連合会の正会員として、国への要望活動を行っています。

他の活動としては、広報活動、余暇活動、研修活動、権利擁護活動、支部活動があります。

知的障害の理解啓発活動として、「かわさきキャラバン隊」を立ち上げ知的障害疑似体験の講演を行っています。知的障害のある人のことを知っていただき、優しい目で見守ってくれる、そのような地域社会になることを願っています。

(一社)やまゆり知的障害児者生活サポート協会は、生活サポート総合補償制度をはじめ共催事業など、私たちの様々な活動を応援してくれています。

当会の詳しい活動についてはホームページをご覧ください。



シンボルマーク

神奈川県知的障害者施設保護者会連合会のご紹介

【設立】

神奈川県知的障害者施設保護者会連合会(以下、神奈川施保連という。)は、神奈川県内にある知的障害児・者の各種支援施設における保護者会(家族会)で構成する連合体です。

「知的障害のある人たちの権利擁護」を目的に昭和44年「神奈川県精神薄弱者施設保護者会連合会」として発足しました。その後平成10年に「精神薄弱者福祉法」が「知的障害者福祉法」に改正に伴い、翌年平成11年現在の名称に変更し、現在23保護者会が加盟しています。

【私たちが目指している社会】

私たちは、知的障害者の個人としての尊厳と権利を尊重し、障害者自らの意思決定(支援を受けての意思決定を含みます)に基づき、それぞれの障害特性ならびにライフステージに応じて最適な生活の場と最適の支援を受け、豊かな暮らしができる社会の実現を目指しています。

【主な活動】

私たちは、知的障害福祉についての基本的考え方を共有し、互いに連携して情報のネットワークをつくり、会員が抱える課題の改善に努めます。

1. 関係諸団体との意見交換、情報交換あるいは必要に応じて行政への要望書の提出など。
2. 知的障害福祉に係る会員への啓発活動(学習会・講演会・交流会等)

【加盟団体】

活動の輪を広げるため平成18年に全国組織である「全国知的障害者施設家族会連合会」に加盟し、今日に至っています。

編集後記
2023年の夏は「最も暑い夏」でした。世界的に見ても災害級の暑さで人々が苦しめられました。皆様はお変わりありませんでしょうか。今後も皆様に「安心」をお届けしていきたいと思っております。
(事務局長 田山 圭子)

一般社団法人 やまゆり知的障害児者生活サポート協会
事務局〔編集〕



〒221-0825 横浜市神奈川区反町3-17-2
神奈川県社会福祉センター内
Tel:045-314-7716
Fax:045-324-0426

■構成団体■■■

神奈川県手をつなぐ育成会
神奈川県知的障害施設団体連合会
NPO法人 横浜市手をつなぐ育成会
川崎市育成会手をむすぶ親の会
神奈川県知的障害者施設保護者会連合会